

『検査に関わる Q&A』

Q1 来院するたびに採血しているが、大丈夫なのか？（貧血にならないのか？）

A 身体に流れる血液量は体重の約 8%とされています。体重が 50kg の方なら約 4L（200mL の牛乳 20 本分）の血液が体内を循環しています。また、赤血球は約 1%、血小板は約 10%前後が毎日産生されています。検査のための採血は検査内容で異なりますが、おおむね 10mL（スプーン小さじ 2 杯分）ですので貧血になる心配はありません。参考までに、健康な方の献血では 400mL の採血が行われています。

Q2 なぜ何本も採血するのか。1 本で出来ないのか？

A 血液は細胞成分（血球）と液性成分（血漿または血清）に分かれます。検査項目により血液を固まらせて血清成分で検査するものや、血液を固まらせずに細胞の数や形を検査するもの、放置すると検査値が変化してしまうため安定させる薬品が入っているものなどがあります。当院では検査内容により、約 20 種類の採血容器を使い分けています。検査項目の数にもよりますが、各採血容器に採取する血液量は 1mL～数 mL 程度です。

Q3 採血前に食事をしてきたが、検査結果に影響はありますか？

A 食事の影響を受ける代表的な項目は血糖と中性脂肪（TG）、インスリン、アルカリフォスファターゼ（ALP）であり食事によって空腹時よりも高値となります。一般的に空腹時採血とは、12 時間以上絶食した状態で採血することを意味します。糖尿病や高脂血症で治療を受けている場合は、担当医師の指示に従ってください。食事をしてきてしまった場合は、検査結果を担当医が正しく解釈できるよう診察時にお伝えください。また、採血では水・お茶など糖分や脂肪分を含んでいないものであれば摂取しても影響はないとされています。しかし、胃カメラや腹部エコーなど、絶飲食が必要な検査もありますのでご注意ください。

Q4 血液の色が黒っぽいけど大丈夫？

A 採血した直後の血液が黒っぽく見えるのは、静脈血のためです。血液は静脈血と動脈血に分かれています。動脈血は肺で酸素をもらい、各組織に酸素を運ぶ血液です。たくさんの酸素が含まれていて、鮮紅色をしています。それに対して静脈血は、酸素を組織に運び終わった血液です。静脈血に含まれる酸素量はとても少なく、体に不要な老廃物や二酸化炭素を多く含んでいるため暗赤色（黒っぽく見える）をしています。

Q5 採血後に注意することは？

A 採血後は揉まずに指で 5 分以上圧迫して下さい。圧迫が不十分だと血液が漏れて洋服を汚したり、皮下出血して腫れたり痛みを生じることがあります。荷物が多く、圧迫する事が困難な場合はガーゼで止血しますのでお申し出ください。採血した腕で重い荷物を持ったり、すぐに血圧を測定すると出血することがあるので、ご注意ください。

Q6 採血した日は入浴していいの？

A 採血当日の入浴は問題ありませんが、採血した部位を強くこすらないようにしてください。

Q7 採血後、青くあざになってしまいました。大丈夫ですか？

A 内出血が考えられます。血管を刺した際に血液が血管外に漏れることで起こります。採血後の止血（採血部位を 5 分以上圧迫）が不十分な場合や、採血困難時に起こることがあります。時間がたてば自然に吸収されて、消えますのでご安心ください。

Q8 尿を採取する時に注意することは？

A 尿道付近には細菌やゴミが付着している場合があるので、排尿時の最初と最後を除いた尿（中間尿）をカップに採取して頂くようお願いしています。また、生理中の方は血液の混入がありますので提出口にある赤いシールを貼ってご提出ください。

Q9 尿検査で必要な量はどれくらい？

A 検査内容により異なりますが、特別な指示がない場合は 25mL（尿カップの 1 番下の線）で十分です。尿が出ないときやご不明点がございましたら、検査室の技師にお声かけください。なお、尿がでない場合は水を摂取していただくようお願いいたします。

Q10 普段よりサプリメントを飲んでいますが、尿検査前に飲んでもいいですか？

A サプリメントの成分にビタミン C が含まれていると影響を受ける検査があります。尿検査をすることがわかっている時は出来るかぎり避けてください。

Q11 心電図検査は体に電気が流れるの？

A 心電図検査では心臓が動くときに生じる電氣的活動を体の表面から記録する検査です。電気が流れるようなことはありません。

Q12 心電図検査をするときに時計は外したほうがいいの？ストッキングは？

A 通常の検査の場合、時計は外す必要はありません。ただし、心電図の電極は肌に抵抗なく密着させる必要があるためストッキングは脱いでいただきます。

Q13 血液型は調べてもらえますか？

A ABO 血液型、Rh 血液型は、輸血を必要と予想される場合や、移植医療等の医療行為が目的の場合にのみ病院で検査することができます。上記以外の目的での血液型検査は、保険診療対象外となります。一般的には、人間ドック、健康診断、献血などで血液型検査を行っております。

Q14 夜間や休診日に来ても検査してもらえますか？

A 夜間や休診日などの診療時間外での検査は、救急患者を対象に、緊急を要する場合に限定して行っています。